

第 33 回全国環境研究所交流シンポジウム 「平時/緊急時モニタリング」

平成 30 年 2 月 15 日(木)～16 日(金)
於 国立環境研究所 大山記念ホール

2 月 15 日(木)

司会：岩崎 一弘(国立環境研究所 企画部)

14:30～14:35 開会挨拶

国立環境研究所 理事長 渡辺 知保

14:35～14:40 来賓挨拶

環境省総合環境政策統括官グループ 環境研究技術室長 行木 美弥

セッション 1： 平時モニタリング①

座長：清水 厚(国立環境研究所 地域環境研究センター)

(1)14:40～15:00 「ライダーネットワーク常時観測から見出される各種エアロゾルイベント」

○清水 厚・杉本 伸夫・西澤 智明・神 慶孝

(国立環境研究所)

(2)15:00～15:20 「横浜市と東京都における夏季の揮発性有機化合物(VOC)同時観測調査」

○福崎 有希子¹・石倉 淳士³・星 純也²・小森 陽昇¹・志村 徹¹・松永 壯²・
上野 広行²

(¹ 横浜市環境科学研究所・²(公財)東京都環境公社 東京都環境科学研究所・
³東京都環境局)

(3)15:20～15:40 「フラクタル日除け及び熱線再帰フィルムを用いた暑さ対策の効果検証」

○小田切 幸次・関 浩二・松島 由佳・石原 充也

(横浜市環境科学研究所)

(4)15:40～16:00 「埼玉県における暑熱環境対策に資する研究」

○原 政之

(埼玉県環境科学国際センター)

16:00～16:10 (休 憩)

セッション 2: 平時モニタリング②

座長: 高津 文人(国立環境研究所 地域環境研究センター)

(1)16:10～16:30 「7県8湖沼における夏季の溶存酸素環境の変動要因について」

○高津 文人¹・小松 一弘¹・霜鳥 孝一¹・三浦 真吾¹・土屋 健司¹・今井 章雄¹・
加川 綾乃²・佐藤 優²・佐藤 貴之³・大沼 沙織³・小室 俊輔⁴・松本 俊一⁴・
中島 麻依子⁵・平山 大輔⁵・吉澤 一家⁶・山本 春樹⁷・岡本 高弘⁷・藤田 和男⁸
(¹ 国立環境研究所・² 宮城県保健環境センター・³ 福島県環境創造センター・⁴ 茨城
県霞ヶ浦環境科学センター・⁵ 栃木県保健環境センター・⁶ 山梨県衛生環境研究
所・⁷ 滋賀県琵琶湖環境科学センター・⁸ 岡山県環境保健センター)

(2)16:30～16:50 「底層溶存酸素量と生物種の関連性の調査」

○佐藤 優・加川 綾乃・福地 信一・郷右近 順子・松本 啓・佐藤 重人
(宮城県保健環境センター)

(3)16:50～17:10 「琵琶湖水質のモニタリング結果から ～大型植物プランクトンの異常発生や気象
イベントが水質変動に与える影響～」

○岡本 高弘¹・七里 将一¹・山本 春樹¹・古角 恵美¹・廣瀬 佳則¹・尾原 禎幸¹・
池田 将平¹・佐藤 祐一¹・浅見 正人²・田仲 輝子²
(¹ 滋賀県琵琶湖環境科学センター・² 滋賀県琵琶湖政策課)

(4)17:10～17:30 「霞ヶ浦における環境 DNA を使った魚類多様性調査」

○今藤 夏子・松崎 慎一郎
(国立環境研究所)

17:30～17:45 総合討論

2月16日(金)

司会: 岩崎 一弘(国立環境研究所企画部)

セッション 3: 緊急時モニタリング①

座長: 中島 大介(国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター)

(1)9:15～9:30 「緊急時モニタリングの現状と課題:我々は何をすべきか」

○中島 大介
(国立環境研究所)

(2)9:30～9:45 「どう取り組むか:リスク評価と優先物質、事象推移と監視手法、基盤情報の整備
など多角的研究が必要」

○鈴木 規之¹・浅見 真理²・井ノ上 哲志³・中村 智⁴
(¹ 国立環境研究所・² 国立保健医療科学院・³ 堀場製作所・⁴ 大阪府立環境農林
水産総合研究所)

別添

- (3)9:45～10:00 「何を測るか:毒性値・生産量ベースの優先対象物質の検討」
○小山 陽介
(国立環境研究所)
- (4)10:00～10:15 「どう調べるか:高リスク化学物質漏えい時における大気調査法の検討」
○茂木 守・大塚 宜寿・蓑毛 康太郎・堀井 勇一・竹峰 秀祐・野尻 喜好
(埼玉県環境科学国際センター)
- (5)10:15～10:30 「どう備えるか:大阪府域における化学物質のストック量について」
○中村 智
(大阪府立環境農林水産総合研究所)

10:30～10:40 (休憩)

セッション 4: 緊急時モニタリング②

座長: 山田 正人(国立環境研究所 福島支部)

- (1)10:40～10:55 「埋立地という環境を測る」
○山田 正人
(国立環境研究所)
- (2)10:55～11:10 「硫化水素ガスが発生する最終処分場の現場調査法」
○遠藤 和人¹・小野 雄策²・山田 正人¹
(¹国立環境研究所・²建設廃棄物協同組合)
- (3)11:10～11:25 「廃棄物最終処分場のガス抜き管等からのガス流量測定」
○長森 正尚
(埼玉県環境科学国際センター)
- (4)11:25～11:40 「非破壊的診断法～電磁探査の紹介～」
○大石 修
(千葉県環境研究センター)

11:40～11:50 総合討論

11:50～12:00 閉会挨拶

国立環境研究所 理事 原澤 英夫